■鯖江市地域公共交通計画の概要

１．現行計画の評価・検証

（１）計画目標の達成状況

計画区域	鯖江市全域
計画期間	7 年間（平成 28 年度～令和 4 年度）
将 来 像	どこにでも歩いて行ける豊かさと安心のある暮らしを支える交通環境

・評価指標の評価：新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、平成 30 年度の値を基本に実施

・６つの評価指標のうち、目標を達成した指標は、目標２の「公共交通人口カバー率」と目標３の「つつじバスポータルサイト（バスどこサービス）アクセス数」の２指標（目標を達成できなかった指標においても値が改善した指標：１指標）

・目標１の「つつじバス年間利用者数」については、利便性向上を図った見直しを行ってきたものの複雑で入り組んだダイヤ編成になったことから、利用回数の増加につながらず減少

目標２の「公共交通が充実していると感じている人の割合」も減少

⇒さらに利用者意向を踏まえた見直しを行うとともに、利用促進に向けた活動等を行うことによって利用者数の増加を図る。

■計画目標と評価指標の達成状況

■目標１　多様な移動ニーズに対応する公共交通の実現

評価指標	基準値	目標値	現況値	評価	備　　考
つつじバス年間利用者数	18.8 万人 (H26 年度)	23.2 万人 (R4 年度)	14.4 万人 (H30 年度)	未達成	H29 年度の見直し以降利用者数が減少
福井鉄道福武線市内駅利用者数	48.2 万人 (H26 年度)	52 万人 (R1 年度)	47.4 万人 (H30 年度)	未達成	46～48 万人で推移しており、目標を下回る

■目標２　まちづくりと連携し、暮らしやすさを高める公共交通の実現

評価指標	基準値	目標値	現況値	評価	備　　考
公共交通が充実していると感じている人の割合	78.1% (H24 年度)	80% (H31 年度)	58.7% (R1 年度)	未達成	つつじバスの利用者数が減少し、目標を下回る
公共交通人口カバー率 (鉄道、路線バス、コミュニティバス)	88% (H27 年度)	90% (R4 年度)	90% (R1 年度)	達　成	路線の見直しにより増加

■目標３　観光・ビジネスで訪れた人にもやさしく、鯖江の魅力を高める公共交通の実現

評価指標	基準値	目標値	現況値	評価	備　　考
つつじバスポータルサイト （バスどこサービス）アクセス数	58,033 回 (H26 年度)	65,000 回 (R4 年度)	15.7 万回 (H30 年度)	達　成	目標値の 2 倍以上のアクセス数

■目標４　市民との協働により、使いやすさを高め、にぎわいを支える公共交通の実現

評価指標	基準値	目標値	現況値	評価	備　　考
公共交通利用促進のための市民団体の活動回数	9 回 (H26 年度)	15 回 (R4 年度)	12 回 (H30 年度)	未達成	活動回数は増加したものの、目標を下回る

（２）目標を達成するために行う事業の実施状況

・下表の 30 事業（継続 13 事業、新規 18 事業（重複１事業））を設定

・継続事業、新規事業を問わず１事業を除いて事業実施（協議・検討中含む）

■事業の実施状況

目　　標	実　施　事　業		実施状況
1.多様な移動ニーズに対応する公共交通の実現	(1) 幹線交通の運行 （ＪＲ北陸線、福井鉄道 福武線、福鉄バス 福浦線） （福鉄バス 鯖浦線、南越線）	継続	● 継続実施
		新規	● H29年度実施、R1年度 南越線延伸区間廃止
	(2) つつじバスの再編・運行	新規	● H29(バス停増設：人口カバー率向上)、H30、H31年度実施
	(3) 外出支援等のためのタクシーの運行・助成	継続	●
	(4) 北陸新幹線へのアクセス手段の検討	新規	● 丹南広域公共交通機関活性化協議会にて協議、検討中
2.まちづくりと連携し、暮らしやすさを高める公共交通の実現	(5) 主要バス停の待合環境の整備 （ＪＲ鯖江駅、ＪＲ北鯖江駅、嚮陽会館、地区乗継拠点等）	新規	● ＪＲ鯖江駅バス停モニター設置 （H29年度 デジタルサイネージ）
	(6) 運行事業の安定化に向けた企業広告等の拡充	新規	
	(7) バス停の運行情報の改善	新規	
	(8) 障がい者、運転免許自主返納者等へのつつじバス利用者無料証の交付	継続	● 継続実施
	(9) ＩＣカード乗車券の導入検討	新規	● ふくい嶺北連携中枢都市圏公共交通ワーキングにて協議、検討中
	(10) パーク＆ライドの利用促進	継続	● 継続実施（R3年度 福井鉄道 西鯖江駅 14台）
3.観光・ビジネスで訪れた人にもやさしく、鯖江の魅力を高める公共交通の実現	(11) 主要乗継拠点でのつつじバス発着情報案内の設置	新規	● H29年度 ＪＲ鯖江駅へのつつじバス接近情報サービスシステムの導入
	(12) つつじバスのリアルタイム位置情報表示 「バスどこサービス」の継続と利用環境の拡充	新規	● H29年度 ＪＲ鯖江駅の環境整備
	(13) レンタサイクルの利用啓発	継続	● 継続実施
	(14) つつじバスの利用料金割引制度 （乗継割引、福井鉄道「ハッピー１日フリー乗車券」との乗継割引、回数券）	継続	● 継続実施
	(15) つつじバスの利用料金割引制度の充実 （学生回数券の導入）	新規	● H29年度 学生回数券の導入 R1年度　高年大学定期券に加えて一般定期券を発行
	(16) 商店街との連携によるつつじバス乗車券の交付	継続	● 継続実施
	(17) 観光施設との連携によるつつじバス乗車券の交付	新規	● ふくい嶺北連携中枢都市圏公共交通ワーキングにて協議、検討中
	(18) 観光タクシーの運行	継続	● 廃止
	(19) 来訪者向け時刻表・パンフレットの製作	新規	● R2年度 時刻表を観光案内所に設置
	(20) 主要観光施設へのつつじバスの運行	新規	● H29～R3 つつじバス幹線の運行
	(21) 周辺市町との連携による広域観光バスルートの検討	新規	● 丹南広域公共交通機関活性化協議会にて協議、検討中
	(22) バス車内への観光パンフレットの設置	新規	● バス車内に設置
	(23) つつじバス車内放送を利用した観光案内	新規	● 車内案内装置（テロップ）にて実施
	(24) 公共交通乗務員の接遇向上	継続	● 継続実施
4.市民との協働により、使いやすさを高め、にぎわいを支える公共交通の実現	(25) 公共交通利用促進のための市民団体の統合による活動強化	新規	―
	(26) 公共交通とまちづくりに関する意識啓発と利用促進	継続	● 継続実施
	(27) 会議・イベント開催時の公共交通利用	継続	● 継続実施
	(28) つつじバス利用促進キャンペーンの実施	継続	● 継続実施
	(29) 自治会によるつつじバス停留所の上屋の設置・管理と行政による支援	継続	● 継続実施
	(30) 公共交通機関としてのタクシーに関する情報発信	新規	● 継続実施

●　：実施　　―　：未実施

２．地域公共交通計画

■地域公共交通の問題・課題

社会潮流への対応	新型コロナウイルス感染症拡大による公共交通利用者減少、新しい生活様式への対応
	持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた環境負荷の軽減
	大規模災害への対応
人口・都市構造	北陸新幹線敦賀開業時における幹線交通網の変化への対応
	人口減少、少子高齢化、郊外部の人口増加の進行に伴う公共交通利用者ニーズへの対応
	過度な車依存の交通環境の是正
	商業施設等の郊外立地による市街地中心部のにぎわいの低下への対応
市民生活	市内の東西移動における速達性向上への対応
	通学交通におけるバス交通ニーズへの対応
	公共交通相互の乗継利便性の改善
観光振興	観光面における公共交通の活用
利用環境	ＪＲ鯖江駅東口および周辺の利便性向上
	公共交通の待合環境の改善
	運行経路や運行時刻等の基本情報の分かりやすい情報提供
運行体制	効率的で柔軟性のある運行体制の確立
	安定的な運営財源の確保
市民協働	地域の公共交通サービスの維持に向けた公共交通の利用促進

■地域公共交通の目標

（１）地域公共交通網の将来像

地域公共交通網の将来像	豊かさと安心のある暮らしを支える交通環境

現行計画を継承

（２）地域公共交通網の計画目標

目標１　多様な移動ニーズに対応する公共交通の実現

・幹線交通と二次交通網のネットワーク化に向けた福鉄バス、つつじバスの運行経路、時間帯の見直しなどにより、速達性の向上、日常の生活交通に対応する公共交通の実現を目指します。

指　　標	現況値	目標値
つつじバス年間利用者数	14.4 万人（平成 30 年度）	17 万人（令和 8 年度）
福井鉄道福武線市内駅利用者数	47.4 万人（平成 30 年度）	50 万人（令和 8 年度）
利用者一人当たり公的資金投入額	936 円/人（令和 2 年度）	750 円/人（令和 8 年度）

目標２　まちづくりと連携し、暮らしやすさを高める公共交通の実現

・主要乗継拠点をはじめ主要な駅やバス停での待合環境の整備などの施策により、人口や都市機能の集積を図るための施策と一体的な公共交通の利用環境の向上を図り、まちづくりと連携し、暮らしやすさを高める公共交通の実現を目指します。

指　　標	現況値	目標値
公共交通が充実していると感じている人の割合	58.7%（令和元年度）	80%（令和 8 年度）
公共交通集落カバー率（鉄道、路線バス、コミュニティバス）	95%（令和 3 年度）	97%（令和 8 年度）

目標３　観光・ビジネスで訪れた人にもやさしく、鯖江の魅力を高める公共交通の実現

・はじめて利用する観光・ビジネス客でも気軽に利用できる環境づくりとして、運行経路や運行時刻などの基本情報の分かりやすい提供やレンタサイクル、観光案内、観光コースの整備などにより、観光・ビジネスで訪れた人にもやさしく、本市の魅力を高める公共交通の実現を目指します。

指　　標	現況値	目標値
つつじバスポータルサイト（バスどこサービス）アクセス数	15.7 万回（平成 30 年度）	16 万回（令和 8 年度）

目標４　市民との協働により、使いやすさを高め、にぎわいを支える公共交通の実現

・市民による公共交通の利用促進に向けた意識啓発や支援団体の連携、市民等との協働により、使いやすさを高め、にぎわいを支える公共交通の実現を目指します。

指　　標	現況値	目標値
公共交通利用促進のための市民団体の活動回数	12 回（平成 30 年度）	15 回（令和 8 年度）

計画区域	鯖江市全域
計画期間	5 年間（令和 4 年度～令和 8 年度）

（３）バスネットワークの再編

・幹線交通と二次交通の公共交通相互の乗り継ぎができる乗継拠点として引き続き４箇所を位置づけ、福鉄バスによる隣接都市間の連携強化、つつじバス相互の乗継による市域全体への移動サービスを確保することにより、「豊かさと安心のある暮らしを支える交通環境」を目指します。

バスネットワークの再編

乗継拠点の設置

●主要乗継拠点

・幹線交通とつつじバス、およびつつじバス間の乗継拠点として、以下の４箇所を位置づけます。

⇒ＪＲ鯖江駅、ＪＲ北鯖江駅、福井鉄道神明駅、嚮陽会館（福井鉄道西鯖江駅）

つつじバス路線の再編

循 環 線

●市街地中央部の生活関連施設の利便性向上

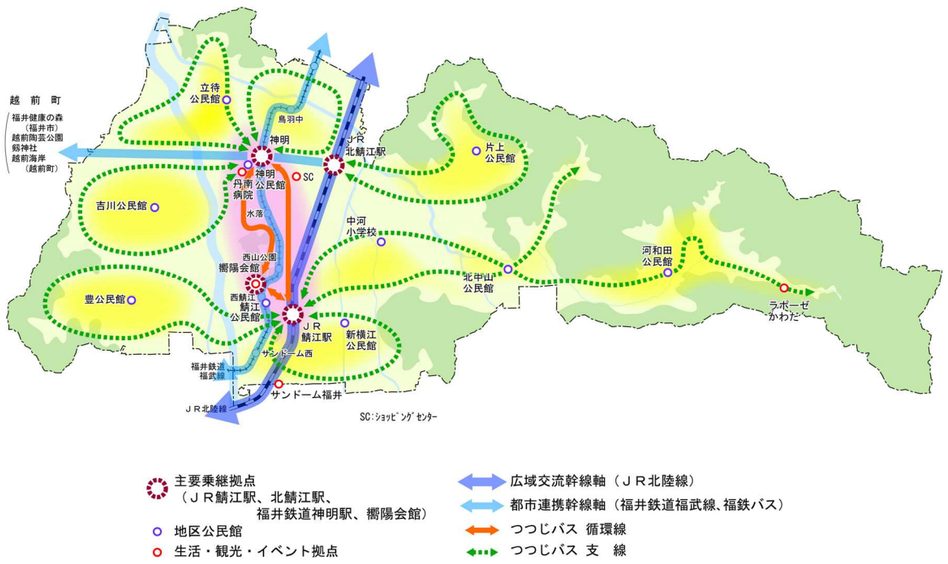
・市街地中央部に集積する生活関連施設を高頻度で循環します。

支　　線

●速達性の向上

●日常の生活交通への対応

・通勤通学や通院、買い物等の移動の利便性を改善するため、ルートの効率化による速達性の向上を図ります。



（４）目標を達成するために行う事業とその実施主体

目標１	多様な移動ニーズに対応する公共交通の実現

実施事業	実施主体	備考
（1）幹線交通の運行 （ＪＲ北陸本線（並行在来線）、福井鉄道 福武線、福鉄バス 福浦線、鯖浦線）	ＪＲ西日本（株）（福井県並行在来線準備（株））、福井鉄道（株）	－
（2）つつじバスの再編・運行 ※	鯖江市、つつじバス運行事業者	○
（3）つつじバス車両の更新	鯖江市	○
（4）外出支援等のためのタクシーの運行・助成	タクシー事業者、鯖江市	－
（5）北陸新幹線へのアクセス手段の検討	鯖江市、越前市、福井県	－
（6）多様な輸送資源の活用の検討	鯖江市、交通事業者	○

目標２	まちづくりと連携し、暮らしやすさを高める公共交通の実現

実施事業	実施主体	備考
（7）主要バス停の待合環境の整備	鯖江市	－
（8）主要乗継拠点でのつつじバス情報案内の設置	鯖江市	－
（9）運行事業の安定化に向けた企業広告等の拡充	鯖江市	－
(10) 障がい者、運転免許自主返納者等へのつつじバス利用者無料証の交付	鯖江市	－
(11) キャッシュレス決済の導入検討	鯖江市、福井県、ＪＲ西日本（株）（福井県並行在来線準備（株））、福井鉄道（株）	－
(12) ＪＲ鯖江駅東口改札の設置および周辺整備に向けた取り組み	鯖江市、福井県、ＪＲ西日本（株）（福井県並行在来線準備（株））	○
(13) つつじバスのフリー乗降制の検討	鯖江市、つつじバス運行事業者	○
(14) パーク＆ライドの利用促進	鯖江市、ＪＲ西日本（株）（福井県並行在来線準備（株））、福井鉄道（株）	－

目標３	観光・ビジネスで訪れた人にもやさしく、鯖江の魅力を高める公共交通の実現

実施事業	実施主体	備考
(15) つつじバスのリアルタイム位置情報表示 「バスどこサービス」の継続と利用環境の拡充	鯖江市	－
(16) レンタサイクルの利用啓発	鯖江市、（一社）鯖江観光協会	－
(17) つつじバスの利用料金割引制度 （乗継割引、福井鉄道「プレミア１日フリー乗車券」との乗継割引、回数券）	鯖江市	－
(18) つつじバスの利用料金割引制度 （１日フリー乗車券の導入）	鯖江市	○
(19) 商店街との連携によるつつじバス乗車券の交付	鯖江市	－
(20) 観光施設等との連携によるつつじバス乗車券の交付	鯖江市	－
(21) バス車内への観光パンフレットの設置	鯖江市、福井鉄道（株）、つつじバス運行事業者	－
(22) つつじバス車内を利用した観光案内	鯖江市、つつじバス運行事業者	－
(23) バス停表示看板のデザイン更新	鯖江市	○
(24) ＳＮＳを利用した情報発信	鯖江市	○
(25) 公共交通乗務員の接遇向上	交通事業者	－

目標４	市民との協働により、使いやすさを高め、にぎわいを支える公共交通の実現

実施事業	実施主体	備考
(26) 公共交通とまちづくりに関する意識啓発と利用促進	市民団体、企業、交通事業者、鯖江市、福井県	―
(27) つつじバス利用促進	鯖江市	―
(28) 自治会によるつつじバス停留所の上屋の設置・管理と行政による支援	地域住民、鯖江市	―
(29) 公共交通機関としてのタクシーに関する情報発信	鯖江市、タクシー事業者	―

※地域公共交通利便増進事業

○：新規事業
―：継続事業

●つつじバスの再編・運行（新規）

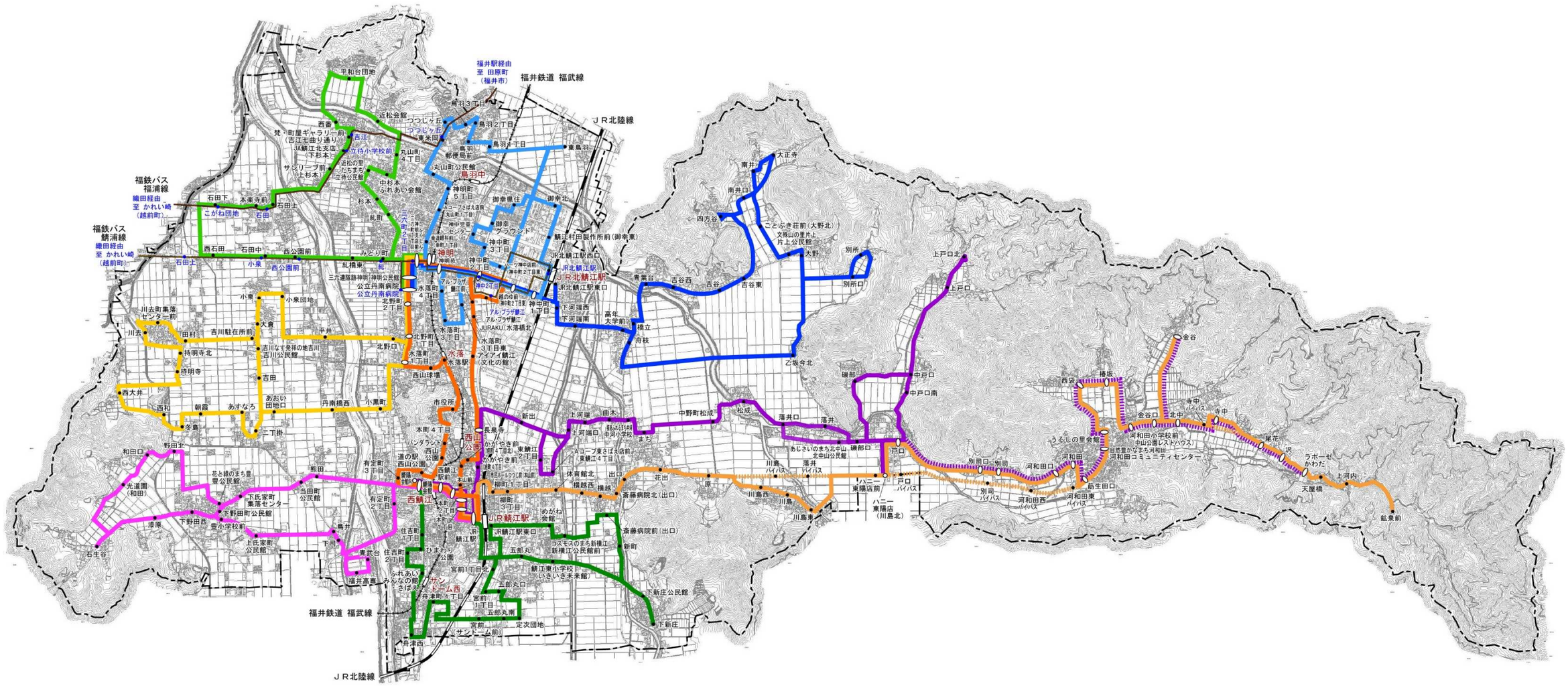
■つつじバスネットワークの路線構成

区　　分	路　　線　　名	備　　考
①循　環　線	循 環 線	ルートの一部変更、 バス停の追加(2)、廃止(1)
②支　　線	鯖江南・新横江線	ルートの一部廃止、 バス停の追加(1)、廃止(4)
	神 明 線	変更なし
	片上・北中山線	ルートの一部廃止、 バス停の追加(1)、廃止（9）
	立 待 線	変更なし
	吉 川 線	ルートの一部廃止、変更、 バス停の追加(6)、廃止（2）
	豊　　線	ルートの一部廃止・変更、 バス停の追加(1)、廃止（8）
	中河・北中山線	ルートの一部廃止、 バス停の廃止（7）
	河和田線	ルートの一部廃止、 バス停の追加（8）、廃止（2）

※幹線、通学便：廃止

（　）：個所数

つつじバス再編ネットワーク



＜鉄道＞

- ＪＲ北陸線
- 福井鉄道福武線

＜路線バス 福井鉄道＞

- 福浦線
- 鯖浦線

＜コミュニティバス つつじバス＞

- 循環線
- 鯖江南・新横江線
- 神明線
- 片上・中河線
- 立待線
- 吉川線
- 豊線
- 北中山・中河線
- 河和田線

- つつじバス バス停（単路線）
- つつじバス バス停（複数路線）
- 福鉄バス バス停
- 行政区域